

令和3年度 第1回 三重県河川整備計画流域委員会 議事要旨

日 時：令和4年3月30日（水）

14:00～15:00

会 場：三重県津庁舎6階第大会議室

1. 開会
2. 主催者挨拶
3. 議事

雲出川水系（指定区間）の河川整備計画について、以下のとおり議事を行った。

委員

- ・昭和の破堤を伴う浸水被害の浸水域を見ると、外水氾濫の元が波瀬川なのか、本川なのか、赤川なのか分からないし、雲出川右岸のぎりぎりまでが流域になっている。県が赤川だけを整備するとしても、国と分けてやるのか、協力してやるのかを伺いたい。それに関連して、流域治水として、霞堤をうまく利用するのも含めて、ここはモデルケースになるところだと思う。今日の計画の話の中でそういう言葉が出てこなかったので、両方でうまくやるならば、言葉も統一した方がいいかと思います。

事務局

ここの浸水被害は雲出川からの逆流がほとんどです。国の方も雲出川中流域整備として、事業を着手していて、整備としては、赤川のところに雲出川には堤防がないので、堤防を上げると聞いています。赤川に水門を作る話もあります。そちらの水門の計画にあわせて、赤川も今回整備計画を作って整合性をとっていきたいと考えています。国と一緒に整備をしていきたいと考えています。流域治水については、今度、ご提示致します。雲出川の水が多い時に流入する水を少しでも減らすべきだと赤川の河川管理者としても考えています。赤川の上流にため池や調整池がいくつかあるということで、少しでも下流へ流れる水を減らせないかと検討しています。

委員

- ・スライド 31 ページの表にフナ属、ニゴイ属、スゴモロコ属とあるが、これは種まで分類が落とせなかったという意味か。フナを種まで落とそうと思うと外部形態による判定が難しく落とせないと思うが、ニゴイ属、スゴモロコ属は外部形態で種まで落とせる。雲出川にはニゴイとズナガニゴイの2種類がいる。ズナガニゴイは三重県では雲出川にしかない。京大のグループのDNA分析の結果から、ズナガニゴイは移入種ではなく在来種であることがはっきりしている。ズナガニゴイの数は減っていて、県のレッドリストにも載っているのが立派な重要種になる。赤川では調査はしていないが、雲出川、中村川、波瀬川で、ズナガニゴイが出ているし、河川環境を見ても赤川でも出る可能性が高いので、しっかり調査をしてほしい。底生動物は魚類しか載っていないが、ここには無脊椎動物がないのか。具体的には、巻貝や二枚貝はいるか。レッドリストに載っている種がいると思う。そこは注意してほしい。魚については、種

まで落とせないのであれば、私のところまでサンプルを持ってきて頂ければ、種まで落としてみせる。

事務局

種の特定について、またご相談致します。

委員

- ・中村川から雲出川に赤川の流末が変更された理由とその後の水害との関係は何かあるか。それと、旧初瀬街道と伊勢道の辺りで流路が曲がっているが、これもそれまでの治水や水位の関係でこういう状況になっているのかどうか教えて欲しい。

事務局

下流の変遷は昭和 40 年代の災害で変えています。なぜ変えたのかはわかっていません。上流の方で曲がっているところは、用水路のように川が流れていますので、それで曲がっているのかと推察はされますが、なぜかはわかりません。

委員

- ・ソフト対策の状況について、洪水に関するハザードマップ等の情報を出しても、紙媒体であれば失くしてしまうとか、地図自体の重要なものを読み取るリテラシーが伴わないと難しいと言われているが、情報を提供したその先、一步踏み込んで、これが本当にソフト対策として有効になるように、住民への直接的な働きかけや対策等、何かしていたら、教えて欲しい。

事務局

確認して後日、回答致します。

委員

- ・河川整備計画では、川の周りの話だけではなく、流域全体でどうしていくかを考えればいいのか。

事務局

この河川整備計画自体は赤川の整備について議論頂きます。ただ今流域治水ということで河川以外の上流の森林や水田、そういったものについて、少しでも治水の役に立つような動きを進めていまして、整備計画の中では具体的に調整池をどうするとかは書けませんが、そういうことをやっていった方がいいのではないかと、そういうことを議論して頂きます。

委員

- ・下流の水門の建設に関する具体的なスケジュールを教えて欲しい。ため池について、地形を見ると用水路とつながる感じで直接赤川には入ってこないかと思う。そうすると用水路について考えないといけないので難しい面もあると思う。次回、対象降雨や基本高水等の話が出てくると考えていいですか。

事務局

水門については直轄事業で設計を進めています。令和 4 年度に設計を終わりにして、令和 5 年度に着手したいと聞いています。来年度の 8 月までここで議論して頂き、その議論をもとに設

計を進めていきます。次回、計画降雨、計画高水、河道計画等をすべて骨子という形でお示しします。

委員

- ・環境調査の日程を見ると、これだけでは貴重種が出てくることはあまりないと思う。是非今後いろいろな時期での調査を考えて頂けるといいかと思う

委員

- ・流域治水がキーワードかと思うが、この整備計画の中で流域治水をどこかで意識されているのか、されていないのか確認したらいいかと思う。

委員長

- ・ここ赤川が雲出川の計画で、むしろ雲出川の遊水池になってしまう。そういったことはどうやっていくのか考えていきたいと思う。

4. 閉会